

39

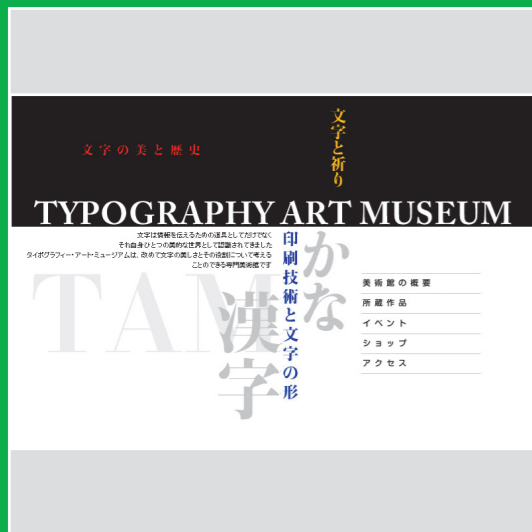
縦組みと横組みを混在させたレイアウト

テキスト + float + position

version of CSS CSS 2.1

対応ブラウザ IE 6 ○
IE 7 ○
Opera ○
Firefox ○
Safari ○

design level ★ ★ ★ ★ ★



technique of design

日本語には、ひらがな、カタカナ、漢字というそれぞれ文字の形態に特徴のある3つの文字が混在している。さらに日本語は縦組みでも横組みでも表現できる特殊な性質を持っている。こうした日本語の文字のもつ多様性は、デザイン的に大きな可能性を秘めている。1つのデザインのなかで、縦組みと横組みの文字を組み合わせると、余白の生じ方が多様になり、デザインに変化が生まれるのだ。

制作・文 佐藤 好彦

1 主要な要素を配置

まず、ページを上下に黒い領域と白い領域に分けてデザインしていく。黒い領域の下部に左右中央揃えでタイトルとなる文字を配置する。「TYPOGRAPHY」の最後の「Y」の右端に揃えて、白い領域にリード文を配置する。さらに、リードの下にラインに揃えてナビゲーションボタンを配置する。



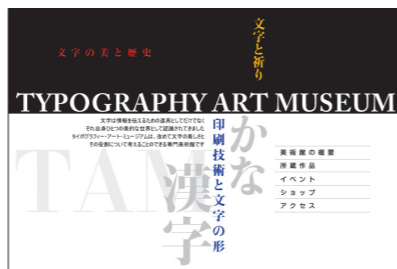
2 アクセントの色文字を配置する

「P」には太い縦線があるので、縦方向の力がある。タイトルの「P」の縦線にあわせて、タイトルの上の余白の天地中央に赤い文字を配置する。次に、「ART」の「T」の縦線に中央揃えにして黄色い文字を上配置する。さらに、「ART」の「A」に中央揃えして、下に青い文字を配置する。文字そのものも持っている形を生かすようにレイアウトを検討していく。



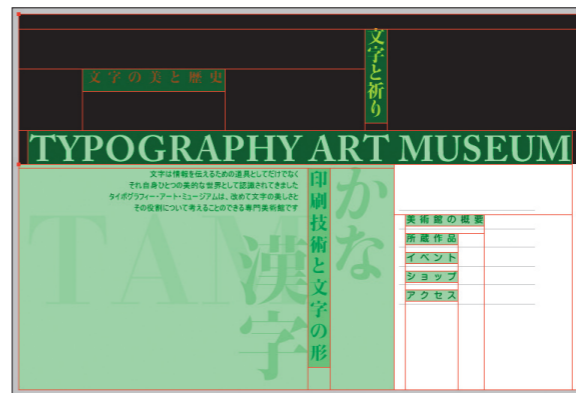
3 飾りの文字を淡色で配置する

その他の飾りになる文字を配置する。タイトルが横組みの英文なので、縦組みの文字を増やすことでバランスをとる。大きい文字を強い色で表現してしまうと、インパクトが強すぎてしまう。淡い色を使うなど色の濃淡に変化をつけることで、タイトルやナビゲーションなどとの、重要度の違いを明確にする。



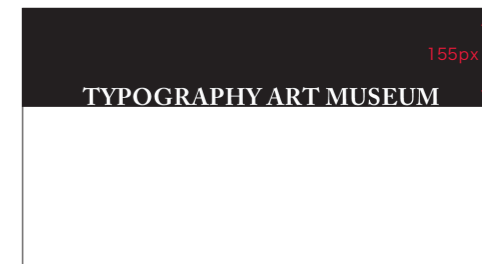
4 パーツをスライスして書き出す

必要なパーツ部分にスライスを設定して書き出す。右下の文字の重なっている部分は、リードと青い文字を非表示にして、1枚のGIF画像として保存する。



5 タイトルとなる文字の画像を配置する

h1要素のなかにタイトルとなる文字の画像を配置する。h1要素の上のpaddingを「155px」にして背景を黒にすることで、ページ上部の黒い領域を表現している。h1要素がもともと持っているmarginを「0px」にし、画像を左右中央揃えに配置する。



```
<h1></h1>
```

```
h1 {
  margin: 0px;
  padding: 155px 0px 0px 0px;
  background-color: #000000;
  text-align: center;
}
```

6 リードの文章と背景画像を配置する

コンテンツを配置するdiv要素「content」を作成し、幅を「750px」、左右のマージンをautoにして、ページ内の左右中央揃えにする。このなかでリードの文章を配置するdiv要素「lead」を作成して、文章を挿入する。div要素「lead」を「width: 500px; height: 300px;」と大きめに設定し、[4]で作成した画像を背景画像として適用する。リードの位置はdiv要素「lead」のなかのp要素なので、「#lead p」というセレクタでmarginを調整することで行う。div要素「lead」には「float: left;」を適用しておく。



```
<div id="content">
  <div id="lead">
    <p>(リードの文章)</p>
  </div>
</div>
```

```
#content {
  width: 750px;
  margin: 0px auto;
}
#lead {
  width: 500px;
  height: 300px;
  background-image: url(images/bg.gif);
  float: left;
}
#lead p {
  font-size: 10px;
  line-height: 15px;
  text-align: right;
  margin: 5px 125px 0px 0px;
  padding: 0px;
}
```